

<地域学校協働活動とその声>



地域学校協働活動は、地域住民(ボランティア)・子供・教職員それぞれによさがあります。

わたしも、できることを、できるときに、できるところから始めてみようと思います！

【授業補助(ミシンボランティア)】



・自分の支援が役立つことで自分の生活にもメリハリができました。
・「ありがとうございます」という言葉が心地よく、豊かな気持ちになりました。



・ちょっぴり緊張しましたが、その分、一生懸命覚えようという気持ちになりました。

・手の届かない所、目の行き届かない所まで支援してもらえることでとても助かっています。

【校外活動(収穫体験 など)】



・地域の子供、知らない子供とも顔を合わせることができると、親しみがわいてきます。
・学校での普段の子供の様子を見ることができました。
・子供の頑張る姿を見ることができてうれしかったです。



・ボランティアさんの協力のおかげで、学校だけではできない貴重な体験を子供たちにさせていただきました。

【総合的な学習の時間(水生生物調査)】



・子供たちと一緒に活動したことで、童心にかえったようで楽しかったです。
・子供たちにとって、地域の顔見知りの大人が増えることになり、防犯対策にも貢献できているのではないかと思います。



・ボランティアの人たちは用事があったかもしれないのに、来てくれてうれしかったです。
・初めて会ったボランティアさんと一緒に活動できて楽しかったです。

・ボランティアさんのおかげで、教員だけで行うよりも遥かに安全で充実した活動を行うことができました。

【キャリア教育・社会参加活動(駅前環境整備 など)】



・地域活動をしている生徒が希望をもって活動している姿に、とても感動しました。
・お互いに地元に対する愛着をもち、課題を共有して、生徒と一緒に学び合っていきたいと思いました。



・地域の方からお話を聞くことで、生徒は身近に感じることができ、より地域を好きになると思います。
・「地域の力で学びを支える」という気持ち・協力に感謝申し上げます。

地域学校協働活動ボランティアリーフレット

発行：地域学校協働活動推進検討委員会
岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課
発行日：令和3年2月
下記ホームページに掲載しています。(※ダウンロード可能)
岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>



<「コミュニティ・スクール」「地域学校協働活動」に関する情報は…>

まなびネットいわて 検索

【文部科学省資料】
パンフレットや全国の事例紹介があります。
【岩手県の資料】
参考資料(岩手県版)や県内の事例紹介があります。

地域学校協働活動ボランティアリーフレット

できることを

できるときに

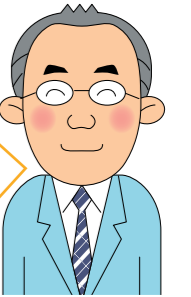
できるところから



【地域住民】

地域全体で子供たちの学びや成長を支える活動が進められているようだけれど、私にも何か協力できることはあるのかしら？

地域の方々(ボランティア)が子供たちと関わってくださることで、子供たちは多くのことを学びます。
学校は、地域の方々(ボランティア)の力を必要としています。



【教職員】



【地域学校協働活動推進員(コーディネーター)】

地域と学校をつなぐ役割を担っているのが「地域学校協働活動推進員(コーディネーター)」です。様々な活動を行うとき、地域と学校の調整役として活動し、ボランティアの方々のお世話をしています。
地域学校協働活動ボランティアについて紹介します。

このリーフレットは、地域の皆様が地域学校協働活動にボランティアとして参加する際の手引きとして作成したものです。

地域の皆様がもっている様々な力(教育力)を子供たちのために活かしていきましょう。

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。



ゲストティーチャー



郷土芸能のサポート



キャリア教育への協力

地域学校協働活動推進検討委員会
岩手県教育委員会

※「地域学校協働活動ボランティアリーフレット」は、被災者支援総合交付金事業「令和2年度仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」により作成しています。

<地域学校協働活動ボランティアとは>

地域と学校が連携し、子供たちのために様々な活動が展開されています。



地域と学校が力を合わせて様々な地域学校協働活動を進めるためには、活動に参加・協力する地域の方々（ボランティア）の力が不可欠になります。

【地域学校協働活動ボランティアの例】



登下校見守り



読み聞かせ



ゲストティーチャー



授業など学習のサポート



部活動指導



キャリア教育への協力



校舎等の環境整備



児童生徒の社会参加活動のサポート



郷土芸能のサポート



学校では、どんな地域学校協働活動が行われているのかしら？
協力したい気持ちはあるけれど、私にできるのかしら？ そんなときは
⇒ どんな活動が行われているのか、学校のホームページ、校報を
チェックしてみましょう。

Q1：ボランティアは初めてですが大丈夫ですか。

A1：大丈夫です。経験者に相談して、できることから始めましょう。

Q2：ボランティアに登録すると毎回参加しなければならない気がして…

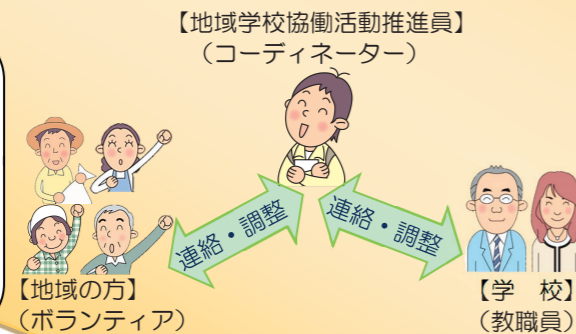
A2：無理せず、都合の良い日だけの参加でOKです。

Q3：ボランティアをしてよかったことは何ですか。

A3：子供とふれ合えること、様々な人とつながりをもてること等たくさんあります。

Q4：自分の特技を活かせるお手伝いはありますか。

A4：各教科や体験活動など、特技を活かせる分野があるので相談してください。



Q5：ボランティアで気をつけることは何ですか。

A5：守秘義務など、注意する点があります。詳しくは、次のページをご覧ください。

地域学校協働活動ボランティアに参加・協力してみたいと思った方は、学校に連絡し、副校長先生や地域学校協働活動推進員（コーディネーター）に相談してみてください。

<ボランティア活動の心得>

活動に参加していただく際には、気をつけていただかなければならない点があります。



心がけましょう

- 明るく元気に挨拶をしましょう。
- 自信をもって大きな声で話しましょう。
- 分かりやすく丁寧な言葉遣いを心がけましょう。
- 子供の良いところを見つけてほめてあげましょう。
- 子供の声に耳を傾け、どの子にも公平に接しましょう。
- 活動で気づいたこと、分からないことは先生やコーディネーターに報告・相談しましょう。



絶対に守りましょう



活動で知り得た個人のプライバシーや秘密は口外してはいけません。



子供が危ないことをしていた場合などは、その場で注意してやめさせましょう。ただし、いかなる場合でも体罰はいけません。



学校や先生、子供の悪口は子供の前では言ってはいけません。気づいたことは終了後、先生やコーディネーターを通して伝えましょう。



体調がすぐれないときは無理をせず、当日でもキャンセルしましょう。



特定の政党の支持を促すことや、特定の宗教活動はしてはいけません。